

平成26年度季節的就労に係る実態調査集計報告

平成27年5月13日

今冬の雇用保険短期雇用特例一時金受給資格者を対象に、ハローワーク千歳ご協力のもと、「季節的就労に係る実態調査」を実施しました。収集したデータを基により実効性の高い通年雇用促進支援事業の策定や、季節労働者の雇用対策に活用することを目的としています。

調査方法は季節労働者の雇用保険短期雇用特例一時金受給手続きの際に、ハローワーク千歳担当者から恵庭市内在住の季節労働者に対してアンケート調査票の配布を行い、失業認定日出頭の際にハローワーク千歳担当者が調査票を回収、恵庭市通年雇用促進協議会が集計・分析を行いました。調査結果は下記のとおりです。

本調査は恵庭市内に在住する雇用保険短期雇用特例一時金の受給資格者を対象に、ハローワーク千歳のご協力を得て恵庭市内在住季節労働者986名を対象に調査を行った。(調査期間：平成26年4月1日～平成27年3月31日)

受給認定のためにハローワークを訪れた季節労働者857名に調査用紙を配布して、483名の回答を得ることができた。回答率は56.4%であった。併せて本人同意のもと、恵庭市通年雇用促進協議会の季節労働者登録を行った。全季節労働者の10%程度は受給資格が得られなかったものと考えられる。

調査期間：平成26年 4月 1日～平成27年 3月31日

調査対象：恵庭市内に在住する季節労働者968名(平成26年度北海道労働局調べ)を対象に857名の季節労働者に調査票を配布した。

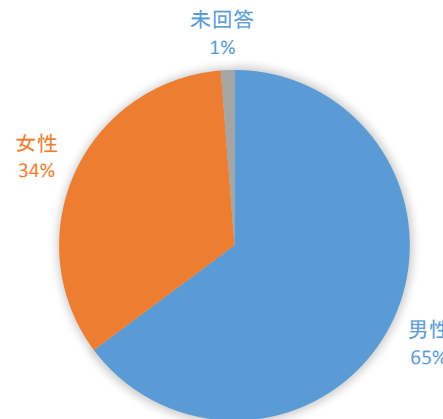
1. 回答者の性別構成

性別	男性	女性	未回答	計	回答率
	313	164	6	483	56.40%

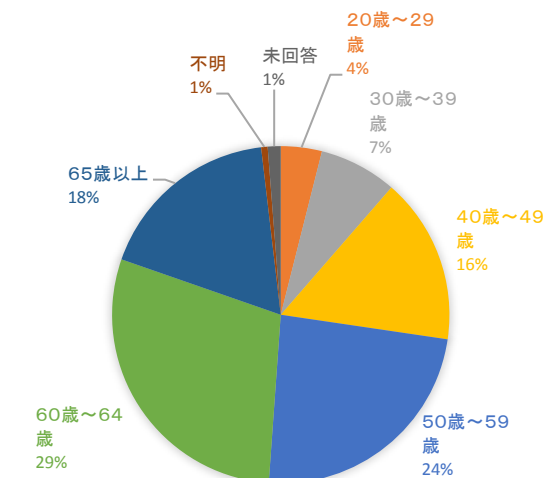
2. 回答者の年代別構成

年齢構成	男性	女性	未回答	計
20歳未満	0	0	0	0
20歳～29歳	15	4	0	19
30歳～39歳	24	12	0	36
40歳～49歳	47	30	0	77
50歳～59歳	53	62	0	115
60歳～64歳	101	40	0	141
65歳以上	71	15	0	86
不明	2	1	0	3
未回答	0	0	6	6
合計	313	164	6	483

回答者の性別構成(図1)



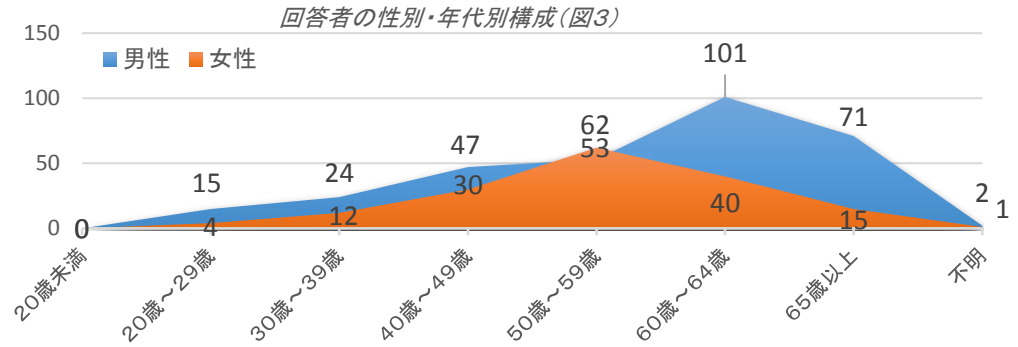
回答者の年代別構成(図2)



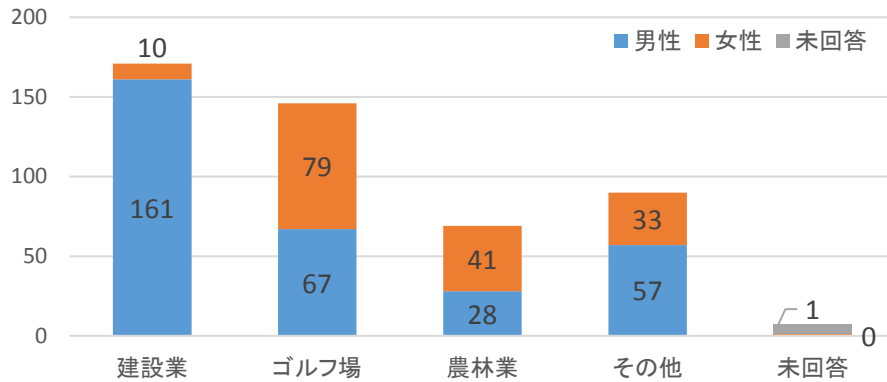
本調査回答者の性別を対比すると、男性が3分の2、女性が3分の1を占める結果となった。(図1参照)
 また年代別に分類したところ高年齢層が多く、50歳以上で70.8%を占めた。(図2参照) 女性は50代をピークに減少しており、男性は60代でピークとなる。60歳以上で47.0%を占め、男性季節労働者の高齢化は年々進んでいるものと考えられる。(図3参照)

3. 回答者の離職前の勤務先の業種

離職前の業種	男性	女性	未回答	計
建設業	161	10	0	171
ゴルフ場	67	79	0	146
農林業	28	41	0	69
その他	57	33	0	90
未回答	0	1	6	7
合計	313	164	6	483

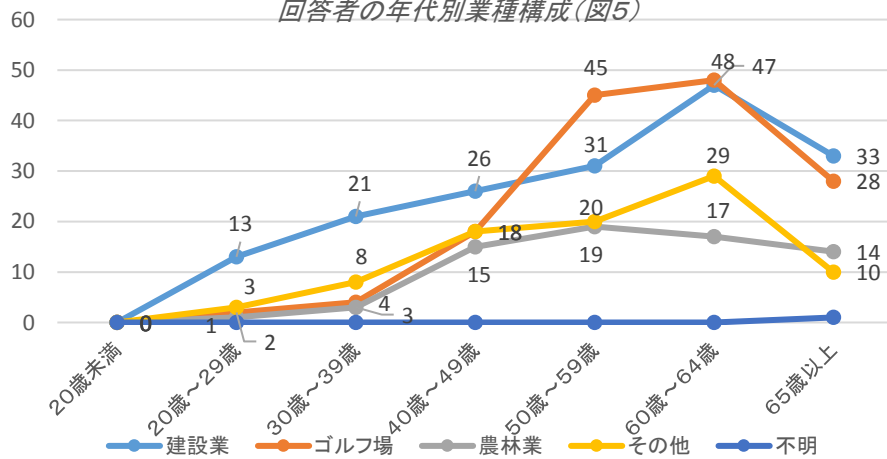


回答者の離職前の勤務先の性別業種構成(図4)

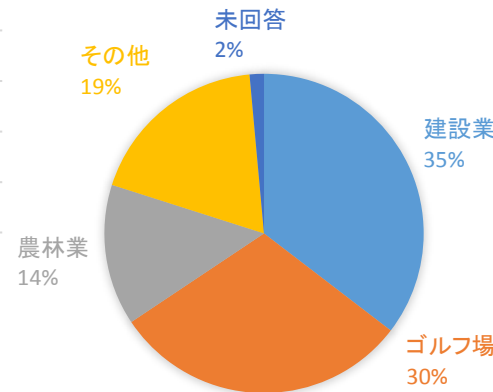


年齢構成	建設業	ゴルフ場	農林業	その他	不明	計
20歳未満	0	0	0	0	0	0
20歳～29歳	13	2	1	3	0	19
30歳～39歳	21	4	3	8	0	36
40歳～49歳	26	18	15	18	0	77
50歳～59歳	31	45	19	20	0	115
60歳～64歳	47	48	17	29	0	141
65歳以上	33	28	14	10	1	86
不明	0	1	0	2	0	3
未回答	0	0	0	0	6	6
合計	171	146	69	90	7	483

回答者の年代別業種構成(図5)



回答者の離職前勤務先の業種構成(図6)

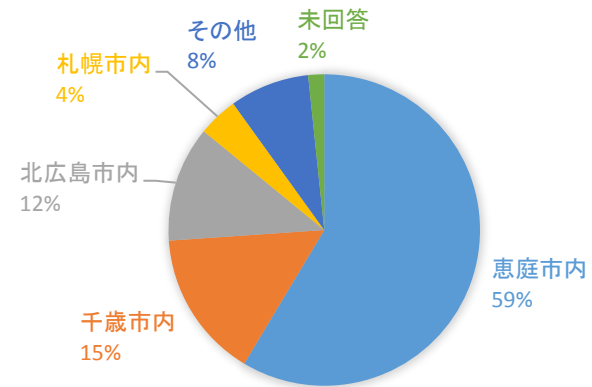


回答者の勤務業種を性別で分類すると、建設業では男性が94.2%を占める。ゴルフ場では男性が45.9%を占め、ゴルフ場の男性季節労働者の働き手の多いことが分かる。(図4) ゴルフ場に従事をする男性季節労働者は、全男性回答者中の21.4%を占めた。季節労働者の勤務業種を大別すると、「建設業」、「ゴルフ場」、「農林業」に分けられ、3業種で79.9%を占める。(図6参照) またいずれの業種においても50歳以上の中高齢者が多いことが分かる。(図5参照)

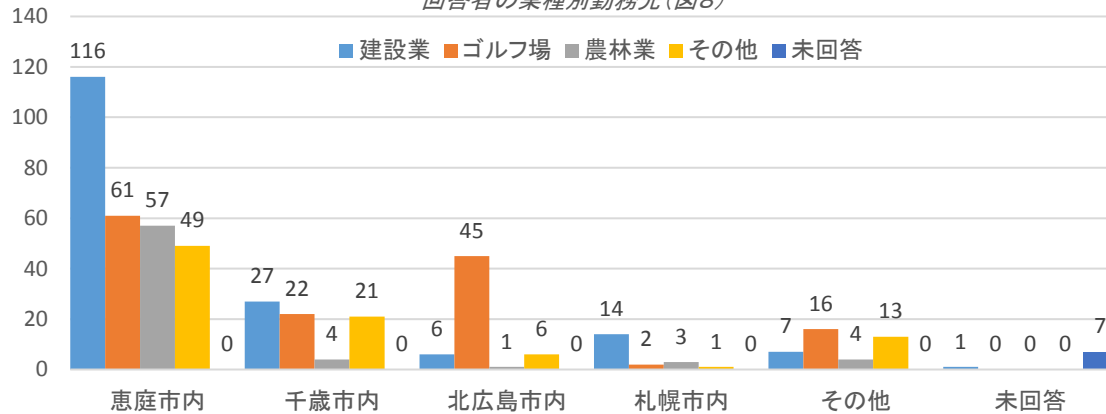
4. 回答者の勤務先所在地について

離職前の業種	建設業	ゴルフ場	農林業	その他	未回答	計
恵庭市内	116	61	57	49	0	283
千歳市内	27	22	4	21	0	74
北広島市内	6	45	1	6	0	58
札幌市内	14	2	3	1	0	20
その他	7	16	4	13	0	40
未回答	1	0	0	0	7	8
合計	171	146	69	90	7	483

回答者の勤務先について(図7)



回答者の業種別勤務先(図8)

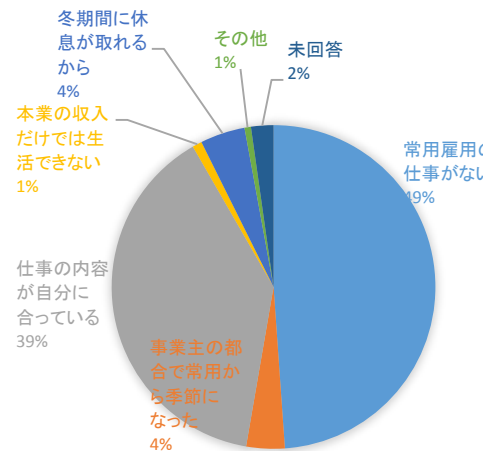


回答者の業種別勤務先を調べると、恵庭市内で勤務する者が58.6%を占める。(図7参照)
 季節労働に従事した動機については、男女間で大きく異なる。男性の48.9%が常用雇用の仕事に就けないことをあげたことに対し、女性では20.1%に満たない。(図9～10参照) 他方、女性のうち季節労働(業務)が自分にあっていると回答した者は57.9%にも及び、収入よりもライフスタイルを重視する傾向にあるものと考えられる。(図10参照)

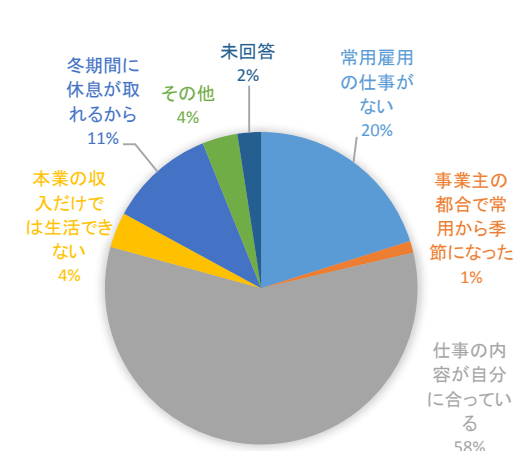
5. 回答者の季節労働従事の動機について

従事した理由	男性	女性	未回答	計
常用雇用の仕事がない	153	33	0	186
事業主の都合で常用から季節になった	12	2	0	14
仕事の内容が自分に合っている	122	95	0	217
本業の収入だけでは生活できない	3	6	0	9
冬期間に休みが取れるから	14	18	0	32
その他	2	6	0	8
未回答	7	4	6	17
合計	313	164	6	483

男性回答者の動機(図9)



女性回答者の動機(図10)

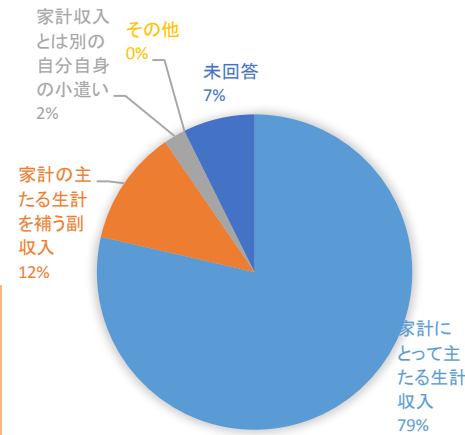


6. 回答者の収入は家計の主たる生計収入か

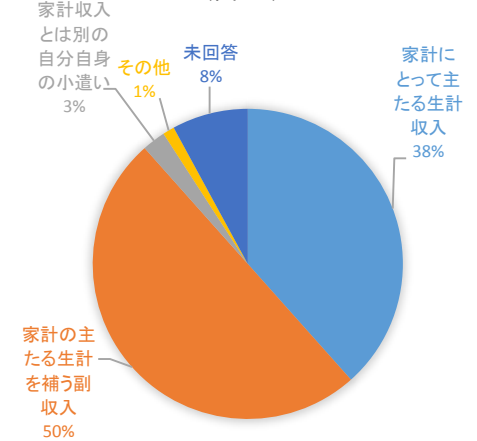
従事した理由	男性	女性	未回答	計
家計にとって主たる生計収入	246	63	0	309
家計の主たる生計を補う副収入	37	82	0	119
家計収入とは別の自分自身の小遣い	7	4	0	11
その他	0	2	0	2
未回答	23	13	6	42
合計	313	164	6	483

回答者の収入が家計の主たる生計収入か尋ねてみたところ、男女間で大きく異なる結果となった。男性の78.6%が「主たる生計収入」と回答したことに対し、女性は38.4%であった。他方、女性のうち「主たる生計を補う副収入」と回答した者は全女性の50.0%を占めた。このことから女性は通年雇用化勤務の意識が低い結果となった。

男性回答者の収入と資金使途 (図11)



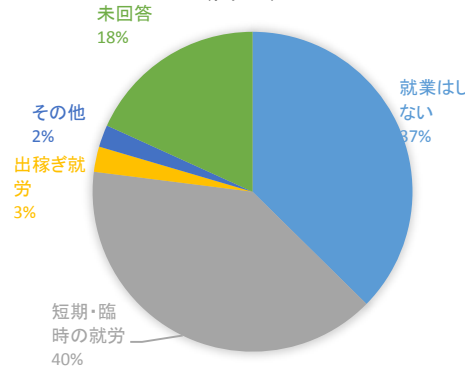
女性回答者の収入と資金使途 (図12)



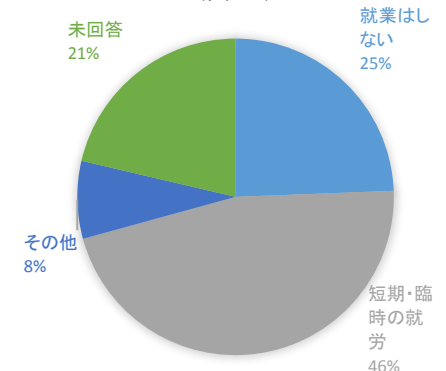
7. 離職後の過ごし方について

従事した理由	男性	女性	未回答	計
就業はしない	117	40	0	157
自営を営む	0	0	0	0
短期・臨時的就労	124	76	0	200
出稼ぎ就労	8	0	0	8
その他	7	13	0	20
未回答	57	35	6	98
合計	313	164	6	483

男性回答者の離職後の過ごし方 (図13)



女性回答者の離職後の過ごし方 (図14)



回答者の離職後の過ごし方について、女性回答者よりも男性回答者が就業しない傾向が見受けられる。年代別に見ると60代を過ぎてから急激に増加しており、特に男性高齢者が就業しないケースが多い。女性の場合は年齢を問わず短期就労機会が容易な雇用環境にあり、建設業を中心に就労する男性季節労働者の短期就労先は除雪作業等に限られるため、多くの高齢男性季節労働者が冬期間の職に就けず、無職の状態を余儀なくされていることが考えられる。

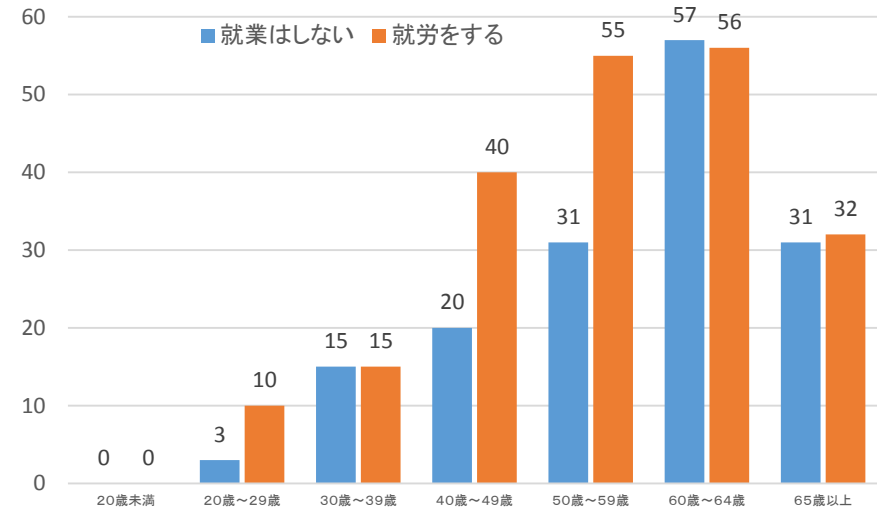
年齢構成	就業はしない	就労をする	その他	未回答	計
20歳未満	0	0	0	0	0
20歳～29歳	3	10	2	4	0
30歳～39歳	15	15	0	6	0
40歳～49歳	20	40	3	14	0
50歳～59歳	31	55	8	8	0
60歳～64歳	57	56	1	27	0
65歳以上	31	32	4	19	0
不明	0	0	0	0	0
未回答	0	0	0	0	6
合計	157	208	18	78	6

8. 通年雇用勤務希望の有無について

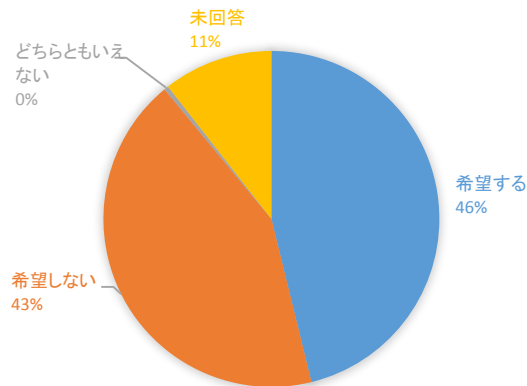
通年雇用勤務希望	男性	女性	未回答	計
希望する	176	47	0	223
希望しない	117	90	0	207
どちらともいえない	0	2	0	2
未回答	20	25	6	51
合計	313	164	6	483

年齢構成	希望する	希望しない	どちらとも 言えない	未回答	計
20歳未満	0	0	0	0	0
20歳～29歳	13	2	0	4	19
30歳～39歳	19	13	0	4	36
40歳～49歳	46	22	0	9	77
50歳～59歳	47	56	1	11	115
60歳～64歳	71	59	0	11	141
65歳以上	27	54	0	5	86
未回答	0	1	1	7	9
合計	223	207	2	51	483

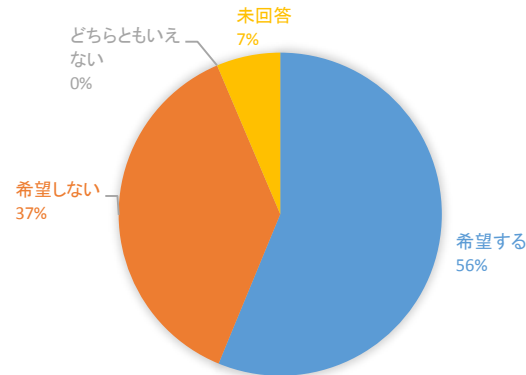
冬期間就労する者と就労しない者の年代別比較(図15)



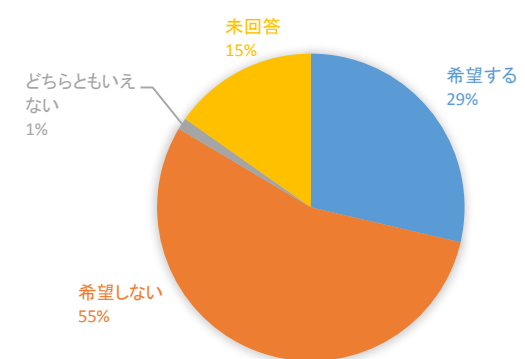
全回答者の通年雇用化勤務希望の有無(図16)



男性回答者の通年雇用化勤務希望の有無(図17)



女性回答者の通年雇用化勤務希望の有無(図18)

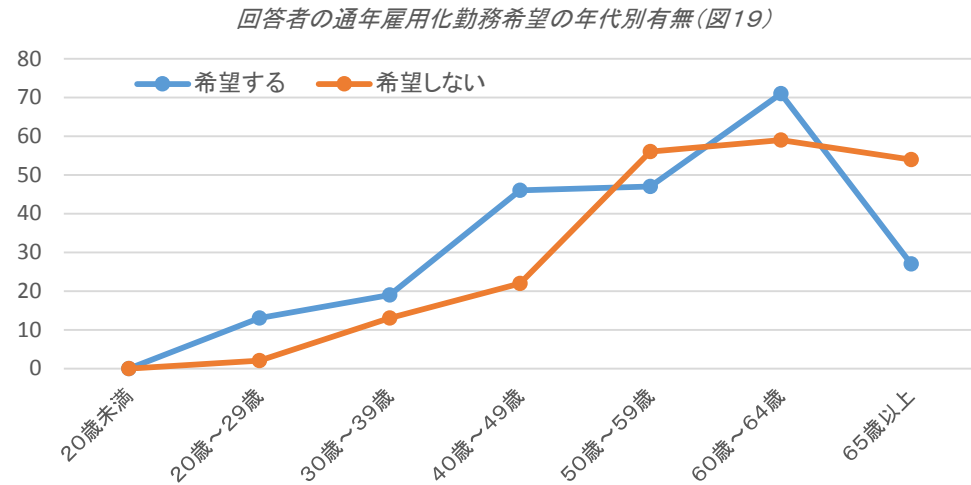


通年雇用化勤務希望の有無について、全回答者では「希望する」が「希望しない」を若干上回っているが、ほぼ拮抗している。(図16参照)性別で見比べると男性回答者の56.2%が通年雇用化を希望しているが、女性回答者では28.7%に満たない。他方男性の「希望しない」は37.4%に対し、女性の「希望しない」は54.9%に及ぶ。(図17～18参照)50代の女性回答者に多く見られる通年雇用化勤務を望まない意識と、すでに通年雇用化勤務を諦めた中高年回答者が「希望しない」ポイントを押し上げたものと考えられる。30代～60歳未満の男性季節労働者は通年雇用化勤務を希望しており、今後は中高年季節労働者向けの効果的な支援事業の策定が求められる。

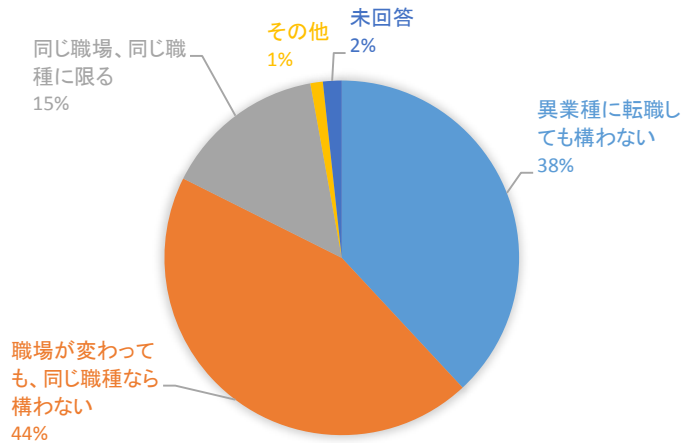
9. 通年雇用勤務の希望条件について(通年雇用勤務を希望する回答者より)

通年雇用勤務の希望条件	男性	女性	未回答	計
異業種に転職しても構わない	67	20	0	87
職場が変わっても、同じ職種なら構わない	78	13	0	91
同じ職場、同じ職種に限る	26	9	0	35
その他	2	4	0	6
未回答	3	0	0	3
合計	176	46	0	222

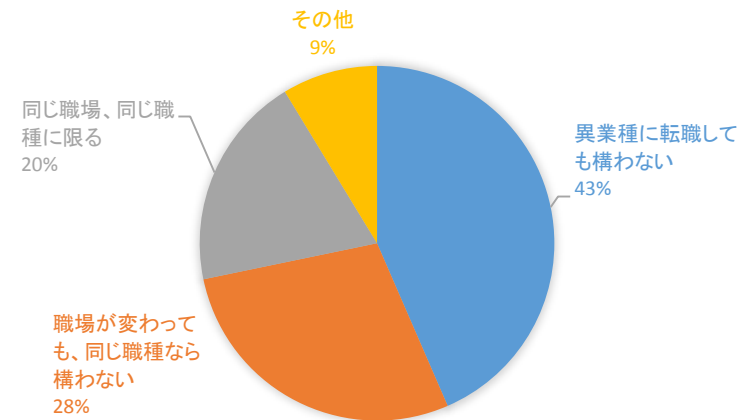
50歳代で一旦「通年雇用化を希望しない」と回答した総数が「通年雇用化を希望する」と回答した総数を上回る現象が起きているが、50歳代は通年雇用化を希望しない女性季節労働者が最も多いために逆転現象が起きていると推測できる。(図19参照)



通年雇用勤務の希望条件(男性)(図20)



通年雇用化勤務の希望条件(女性)(図21)

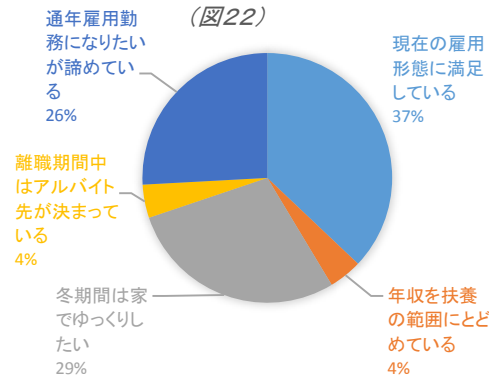


通年雇用化勤務希望の有無について、「異業種への転職が可能」と答えた者は男性回答者(38.1%)よりも女性回答者(43.4%)が多く、転職に関しては柔軟な考えを持っていることがうかがえる。(図20~21参照) 他方、男性回答者では「職場が変わっても、同じ職種なら構わない」との回答(44.3%)が最も多く、建設業を中心にこれまで培った技能やスキルを生かせる業務に就きたいのとも考える。(図20参照) 「異業種への転職が可能」と答えた回答者は40代をピーク(50.0%)に、50代で42.6%、60代以上で32.2%となっている。

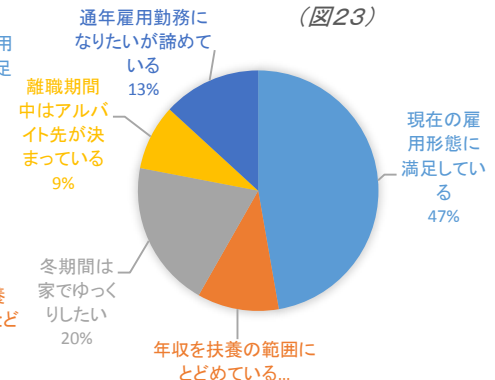
10. 通年雇用勤務希望しない理由(通年雇用勤務を希望しない回答者より)

通年雇用勤務の希望しない理由	男性	女性	未回答	計
現在の雇用形態に満足している	43	43	0	86
年収を扶養の範囲にとどめている	5	10	0	15
冬期間は家でゆっくりしたい	33	18	0	51
離職期間中はアルバイト先が決まっている	5	8	0	13
通年雇用勤務になりたいが諦めている	30	12	0	42
合計	116	91	0	207

通年雇用勤務を希望しない理由(男性)



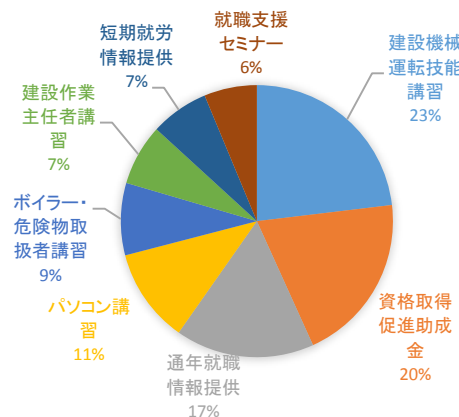
通年雇用化を希望しない理由(女性)



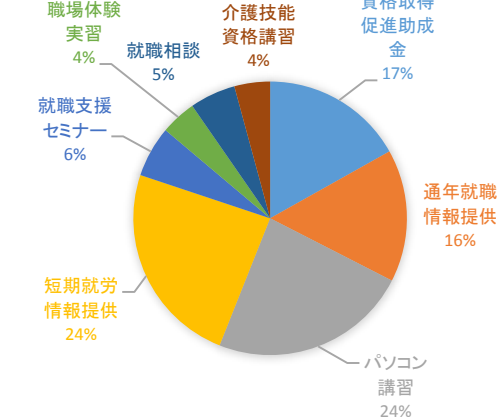
11. 希望する通年雇用促進支援事業メニュー(複数回答)

事業名	男性	女性	未回答	計
建設機械運転技能講習	70	2	0	72
資格取得促進助成金	61	28	0	89
通年就職情報提供	50	26	0	76
パソコン講習	34	39	0	73
ボイラー・危険物取扱者講習	26	1	0	27
建設作業主任者講習	22	0	0	22
短期就労情報提供	21	40	0	61
就職支援セミナー	19	10	0	29
業務用自動車運転教習	18	2	0	20
職場体験実習	12	7	0	19
警備業務講習	12	2	0	14
2級施工管理技士講習	10	0	0	10
就職相談	9	9	0	18
介護技能資格講習	9	7	0	16
その他	4	2	0	6
医療看護助手講習	2	3	0	5
合同企業就職説明会	2	2	0	4
未回答	109	70	6	0
合計	490	250	6	561

男性回答者が希望する支援事業メニュー(図24)



女性回答者が希望する支援事業メニュー(図25)



支持の高い支援事業(年代別)

年代/事業	1位	2位	3位
20歳未満	—	—	—
20歳～29歳	資格取得促進助成金	建設機械運転技能講習	就職支援セミナー
30歳～39歳	資格取得促進助成金	パソコン講習	建設機械運転技能講習
40歳～49歳	資格取得促進助成金	建設機械運転技能講習	短期就労情報提供
50歳～59歳	資格取得促進助成金	パソコン講習	通年就職情報提供
60歳～64歳	通年就職情報提供	パソコン講習	建設機械運転技能講習
65歳以上	通年就職情報提供	建設機械運転技能講習	パソコン講習

「冬期間は就労しない」と回答した季節労働者は回答者全体で32.5%に及ぶ。「冬期間は就労しない」と回答した季節労働者のうち75.8%が50歳以上の中高年齢者であった。加齢するほど冬期間は就労をしない季節労働者が増加する傾向にある。

12. 回答した季節労働者の意見・要望

「問5. 回答者の季節労働従事の動機について」より

- | | | | | |
|---|----|---------|------------|---|
| ① | 男性 | 60歳～64歳 | ビル施設管理勤務： | 業務閉鎖期間（夏季間）はゆっくり休暇がとれるから。 |
| ② | 女性 | 40歳～49歳 | 農業・花木園芸勤務： | 勤務時間や休日が調整できるから。 |
| ③ | 女性 | 40歳～49歳 | ゴルフ場勤務： | 給料が良かったので。 |
| ④ | 女性 | 50歳～59歳 | ゴルフ場勤務： | 常用勤務では手取り金額が低く、希望が合わないため（パート、又は時給の低い仕事しかない。 |
| ⑤ | 女性 | 50歳～59歳 | その他業種勤務： | 友人の誘い。 |
| ⑥ | 男性 | 未回答 | ゴルフ場勤務： | 年齢の関係でゴルフ場に勤めた。 |
| ⑦ | 女性 | 40歳～49歳 | その他業種勤務： | 特になし。 |

「問7. 離職後の過ごし方について」より

- | | | | | |
|---|----|---------|--------------|-------------------------|
| ① | 男性 | 65歳以上 | ゴルフ場勤務： | 今まで働いた会社で再雇用要請があれば働きたい。 |
| ② | 女性 | 未回答 | 埋蔵文化財発掘作業勤務： | 自分に適している仕事をしたい。 |
| ③ | 女性 | 40歳～49歳 | 農業・花木園芸勤務： | 何かいい所があれば。 |
| ④ | 男性 | 40歳～49歳 | 農業・花木園芸勤務： | アルバイトがあればする。 |
| ⑤ | 男性 | 40歳～49歳 | 警備業勤務： | 安定した仕事を探す。健康を害しない仕事を探す。 |
| ⑥ | 男性 | 50歳～59歳 | 建設業勤務： | 就職活動。 |
| ⑦ | 女性 | 60歳～64歳 | ゴルフ場勤務： | 親の介護。 |
| ⑧ | 男性 | 20歳～29歳 | 建設業勤務： | 相談中。 |
| ⑨ | 女性 | 20歳～29歳 | 埋蔵文化財発掘作業： | 通年雇用を希望して就職活動。 |
| ⑩ | 女性 | 65歳以上 | 未回答： | 66歳まで冬期間も勤務していました。 |

「問9. 通年雇用勤務の希望条件について」より

- | | | | | |
|---|----|---------|--------------|------------------------------------|
| ① | 女性 | 未回答 | 埋蔵文化財発掘作業勤務： | 自分に適している仕事があれば通年雇用を希望する。 |
| ② | 女性 | 65歳以上 | ゴルフ場勤務： | 年齢がいつているので就職先がない。 |
| ③ | 女性 | 40歳～49歳 | ゴルフ場勤務： | 賞与等の手当てがあれば。 |
| ④ | 女性 | 40歳～49歳 | サービス業勤務： | 場所による。 |
| ⑤ | 男性 | 40歳～49歳 | 警備業勤務： | 健康上の理由から無理な仕事ができないため、それを理解してくれること。 |

「問10. 通年雇用を希望しない理由 通年雇用を希望しないその他理由」より

- | | | | | |
|---|----|---------|----------|------------------------|
| ① | 男性 | 60歳～64歳 | その他業種勤務： | 失業期間は家でゆっくり休養したい（夏季間）。 |
| ② | 男性 | 65歳以上 | ゴルフ場勤務： | 年齢的に無理。 |
| ③ | 女性 | 60歳～64歳 | ゴルフ場勤務： | 年齢的に無理だと思う。 |
| ④ | 男性 | 40歳～49歳 | 建設業勤務： | 出稼ぎに出て通年とは変わらない。 |

「問12. 要望・ご意見」より

- | | | | | |
|---|----|---------|--------------|--|
| ① | 男性 | 60歳～64歳 | 建設業勤務： | 免許・資格・技術があっても年齢的な事が一番ネックになっている。元気だし会社が判断してくれて、65歳以上でも雇っていただけると有難いと思っています。 |
| ② | 男性 | 65歳以上 | その他業種勤務： | 通年雇用及び正社員の職が少ない。 |
| ③ | 男性 | 65歳以上 | ゴルフ場勤務： | 年齢的に就労限界を考えているので希望していない。 |
| ④ | 女性 | 30歳～39歳 | 農業・花木園芸勤務： | 仕事にやりがいを求めるタイプです。魅力ある通年雇用の職種にまだ出会えませんが。農業は私にとって天職です。ですが息子のためにも通年雇用を希望しています。 |
| ⑤ | 女性 | 40歳～49歳 | サービス業勤務： | 通年雇用を希望し、パソコン資格や医療事務の勉強をし病院に勤務しましたが、この年齢ではパート雇用しかなく、生活も賃金が大幅に下がり暮して行けず、両親からお金の援助を受ける始末。収入のため元の仕事に戻りました。
何年も勉強を続け今も勉強を必要とする特殊な仕事で誇りをもってやっています。通年雇用になるように会社側にも目を向けてほしいです。 |
| ⑥ | 男性 | 40歳～49歳 | ゴルフ場勤務： | 北海道という土地柄において、夏場・冬場に季節労働は必要であると思う。
何が何でも通年という必要はないのではないかと。保険・税金・年金等を考える方がよいと思う。 |
| ⑦ | 男性 | 60歳～64歳 | 埋蔵文化財発掘作業勤務： | 年齢制限・資格等は有しているが、必要な経験年数がないため就職にいたらない。中小企業の職場体験研修等が出来れば、就職活動に役立つと思う。 |
| ⑧ | 女性 | 60歳～64歳 | ゴルフ場勤務： | 年齢的に働き場所が限られてしまう。まだまだ年齢制限で切られる職場が多いことに驚きます。 |
| ⑨ | 男性 | 40歳～49歳 | 警備業勤務： | 労働者を低賃金・サービス早出・サービス残業・長時間労働・休日なし・電話での急な呼び出しなど、悪質な労働をさせる会社が多いため改善させる指導を強化して欲しいです。 |
| ⑩ | 男性 | 60歳～64歳 | 警備業勤務： | 毎年の事ですが、雇用者側での年齢の提示がわかりにくい。 |
| ⑪ | 男性 | 40歳～49歳 | 建設業勤務： | 冬の短期仕事を提供してほしい。 |

- ⑫ 男性 40歳～49歳 林業勤務： 今後も通年雇用への推進事業を願います。
- ⑬ 男性 50歳～59歳 建設業勤務： 通年雇用に向けて頑張りましょう。
- ⑭ 女性 30歳～39歳 その他業種勤務： 離職した際の手続き等、千歳まで行かなくてはならないので、恵庭で出来るようにハローワークをつくっていただきたいです。（今の小さなハローワークではなく・・・・。）
- ⑮ 女性 60歳～65歳 埋蔵文化財発掘作業勤務： 健康でボケないためには仕事をすることが一番だと思っています。60歳代の働く場所をお願いします。

以 上

13. 季節的就労に係る希望する実態調査の分析報告（まとめ）

① 回答者の業種別・性別・年代構成について

本調査では平成26年度における恵庭市在住の季節労働者986名（ハローワーク千歳調べ）のうち、ハローワーク千歳に失業給付認定で来庁した季節労働者857名に調査票を配布して、うち483名から回答を得た。（回答率：56.4%）

業種別： 市内の季節労働者の勤務先業種は、建設業とゴルフ場従業者に大きく分けられる。季節労働者数ではほぼ同数の2業種であるが、性別で比較をすると建設業では男性が94.2%を占めるのに対し、ゴルフ場従業者では女性が54.1%を占めた。他方ゴルフ場従業者のうちの45.9%は男性であるが、過去に通年雇用勤務経験者が多く通年雇用勤務へのチャレンジ意欲が高いことから、これら対象者の通年雇用化支援は今後高い効果が見込められると思われる。

性別： 男性313名（64.8%）、女性164名（34.0%）の回答となった。

年代別： 50歳以上の季節労働者は全回答者のうちの70.8%を占めた。統計的に実態にあった季節労働者の年齢構成比であり、季節労働者の高齢化の進展を裏付ける結果となった。

② 回答者の離職前の勤務所在地について

恵庭市内の事業所に勤務する恵庭市内在住の季節労働者は回答者全体の58.6%であった。うち男性が63.6%を占め、女性が36.4%であった。全回答者のうち41.4%は恵庭市外の事業所に勤務する結果となった。

③ 季節労働に従事した理由について

季節労働に従事した理由について尋ねたところ、「仕事の内容が自分に合っている」と、「常用雇用の仕事がない」の2つに大別される。前者の回答は女性に多く、後者は男性に多い。前者の回答は通年勤務よりも仕事と家事を両立することができる、自分のペースにあった業務内容と就労時間を優先しているものと思われる。後者の回答は男性季節労働者が多く従事する建設事業所の90%以上が小規模企業であり、通年雇用化をするだけの経営体力がないため、建設技能者である男性季節労働者（特に中高年齢層）は建設業での通年雇用勤務を望むものの、希望どおりに通年雇用化勤務を果たすことのできる季節労働者は少ない。

④ 回答者の家計について

全回答者のうち「家計の主たる生計者」309名を性別で分類すると、男性で79.6%、女性で20.4%の構成比であった。全男性313名のうち78.6%が、全女性164名のうち38.4%（約63名）が主たる生計者であった。

⑤ 離職後（冬期間）の過ごし方について

「冬期間は就労しない」と回答した季節労働者は回答者全体で32.5%に及ぶ。「冬期間は就労しない」と回答した季節労働者のうち75.8%が50歳以上の中高年齢者であった。加齢するほど冬期間は就労をしない季節労働者が増加する傾向にある。冬期間の就労形態で目立ったのは臨時的な短期就労である。特に50歳を過ぎてから増加傾向にあり、通年雇用化勤務には該当しないが、職種を変えながら周年就労を続ける季節労働者が増加している。

⑥ 通年雇用勤務希望の有無について

通年雇用化を希望する季節労働者は全回答者の46.2%を占めた。昨年度調査時よりも15.1%下降した。性別で分類すると、全男性回答者の56.2%、全女性回答者の28.7%（約223名）が通年雇用化勤務を希望している。男性の通年雇用勤務に対する意識の高さがうかがえる。年代別に見ると50歳から希望者が急増する。回答季節労働者の平均年齢が高いため中高年齢層での増加が目立っている。

他方通年雇用化を希望しない季節労働者は全回答者のうち42.9%を占めた。昨年度よりも5.8%上昇した。全男性回答者のうち37.4%が、全女性回答者のうち54.9%が「通年雇用勤務を望まない」と回答した。男女とも50歳を境に増加する傾向にある。季節労働者の高齢化の進展が影響しているものと思われる。通年雇用化を希望しない理由の中に、「季節労働者就労できることに満足している」との回答が男女ともに群を抜いている。「満足」の言葉にはたくさんの意味が含まれているものと思われる。「高齢になり職業に就けるだけでもありがたい」、「自分の体調や体力に合わせて仕事をしたい」、「家庭や余暇を楽しむ時間を持ちたい」、「高齢なので通年雇用化は諦めている」などが挙げられる。50歳を境目に通年雇用化を希望する者と、そうでない者との意識がはっきりと分かれることが判明した。

⑦ 通年雇用勤務の条件について

通年雇用勤務の条件について、通年雇用化を希望する全回答者のうち、異業種での就労（転職）に肯定的な回答者は39.2%を占めた。全男性回答者のうち38.1%が、全女性回答者のうち43.4%が肯定的な回答を示した。また、同職種であれば他の事業所での就労なら可能と回答した者を加えると、全回答者で80.1%、全男性回答者で82.4%、全女性回答者で71.7%となった。

他方、「同じ職場でなければならない」の回答については、全回答者で15.8%を占めた。男性季節労働者にその傾向が強く、全男性回答者の74.3%を占めた。女性回答者は25.7%にとどまった。建設工事系の技能職や高齢者ほど転職を拒む傾向の強いことが見て取れる。その他の通年雇用化の障壁として、男性季節労働者の多くが就労する建設関連企業の多くが通年雇用化をするだけの経営体力がないことが考えられる。女性季節労働者の場合は通年雇用での就労や高収入よりも、仕事と家事の両立が可能な自身のライフプランに適した職務内容を優先した就労を望んでいるものと思われる。

⑧ 関心のある通年雇用促進支援事業について

恵庭市通年雇用促進協議会が実施する通年雇用促進支援事業について、回答者より関心または必要と考える事業について複数回答にて回答を得た。全体では資格取得促進助成金事業（研修費用の50%負担）について89名から支持の回答を得た。同事業は年代に関係なく幅広い支持を得ている。20代から50代の各層で1番の支持を得ている。建設関連技能講習や介護関連技能講習、施設管理技能講習等は無料で受講が受けられるが、資格取得促進助成金事業を1番に選ぶ理由として同事業の内容を理解していない季節労働者の多いことが推測できる。

通年雇用情報提供事業も76名から支持の回答を得た。60代以上で1番の支持を得ている。「建設機械運転技能講習」や「パソコン講習」の支持も大きい。予想に反して「介護技能資格取得講習」や「医療看護助手講習」、「合同企業就職説明会」の支持が低い結果となった。介護業務への間違っただけの先入観や長期間に亘る講習期間が原因と介護講習は2.9%、看護助手講習は0.9%、合同企業就職説明会は0.7%であった。

以上